

備北プレセンター

だより

発行所

〒728-0013 三次市十日市東 3-14-25

三次市生涯学習センター2F

備北圏域障害者総合就業・

生活支援センター

TEL. (0824)-63-1896

Email : info@bihokucenter.com



全農広島鶏卵世羅GPセンター正面から

職場拝見

今回はプレセンターが初めてジョブコーチを活用しての支援ケースとなった全農広島鶏卵(株)をおたずねしました。

全農広島鶏卵(株)の右代谷常務と世羅GPセンター製造部門を担当しておられる森年課長からお話をうかがいました。

・まず最初に障害者雇用のきっかけは？

色々な研修会に参加して当社でも障害を持つ人ができる仕事があるのではと考えていた時、今回の話が合った。

・今回ジョブコーチを活用してのケースでしたが感想は？

当社職員だけでは対応には不安があった。ジョブコーチの制度を知り支援をいただきながらスムーズに採用まで進み良かったと思っている。

・安永さんを採用されてから半年以上が経過しましたが職場の雰囲気に変化ありましたか？

実習時からみんな普通に接していたので特に変わったという感じはしない。また、本人の職場への溶け込みも早かった。

・職場内で工夫されていることはありますか？

工場内の改造なども視野にいれていたが、今回はその必要もなかった。また、作業内容に関して十分理解されていて、作業手順の変更も必要なかった。

・今後期待することは？

これまでの仕事をやりこなす、またお客様に安心と安全を届ける

意味で記録、計測などに取り組んでほしい。



記録紙に記入中の安永さん

安永さんから一言

・全農広島鶏卵を希望された理由は？
家から近く、バイクで通えるところだから。

・全農広島鶏卵で働いての感想は？
職場の皆さんが優しく働きやすい。

・心配なことはありませんか？
これから雪の季節になった時のバイク通勤が心配です。

全農広島鶏卵
 世羅GPセンター
 従業員数:36名(世羅)
 生產品目:鶏卵
 作業内容:鶏卵洗浄、選別、
 包装、出荷



・今後就職を考えている人にアドバイスを。
 障害があってもできる仕事はあるのであきらめず頑張ってください。
 貴重なお時間をいただき有難うございました。
 世羅GPセンターにおいては衛生面に大変気を配っておられ、我々が毎日食べる卵もこれなら安心と感じました。今後もよろしくお願ひいたします。

障害者就業支援シンポジウムを開催!

働くよろこび見つけられるまち

〜障害者就業支援ネットワーク構築を足がかりにして〜

九月十六日に当センター主催で障害者就業支援シンポジウムを開催しました。



公開講座での佐々木哲二郎先生

公開講座では、講師に NPO 法人ウイングかべの佐々木哲二郎先生をお招きし、福祉はまちづくり〜障害者が暮らし働ける地域をめざして〜と題し、NPO 法人

ウイングかべが運営する「コミュニケーション可笑屋(かわらや)」での取り組みをもとに障害者が地域で働き、生活する中で生じる課題・課題についてお話を聞きました。

可笑屋は障害者の働く場としてだけでなく、地域住民の憩いの場としての役割も果たしています。働くことを通して社会や人のつながりを強め、それがまちづくりへと発展していると聞き、とても参考になるお話でした。

シンポジウムではパ

ネリストとして次の五名の方にお話をさせていただきました。



シンポジウムで話されるパネリスト

二甲株式会社広島工場従業員

富井 英三氏

庄原市障害者相談支援員

正岡 清子氏

三次市障害者自立支援ネットワーク就労支援部会幹事長

歌房 哲也氏

会場との

デイスカッション

では積極的に意見や質問が出され、とても有意義な時間となりました。

また、当日は三次庄原市内の福祉作業所にもご協力いただき、作品の展示や商品の販売をしていただきました

職業指導官

山口 和正氏

農業生産法人(有)ベシタファーム代表取締役

谷口 浩一氏



第7回広島県内障害者就業
 ・生活支援センター
 連絡会開催される

平成二十三年十月二十五日、府中市広谷町の福祉交流館「ハレットせいわ」に県内七圏域の障害者就業・生活支援センタープレセンター（含む）や県内の関係者約三十名が集い、障害者の就労や生活について支援の現状や今後の取りくみについて話し合いを持ちました。今回のメインテーマは「ネットワーキング構築事業の実施状況と課題につ

いて」就業生活支援センターでの人材育成について」で各センターの現状とこれから目指す方向について意見が出



正規のセンターへ移行予定

備北圏域障害者総合就業生活支援センター（現在プレセンター）は、平成二十二年四月設立後一年七カ月が経過しました。これまで、障害者の就業生活支援センター

「正規のセンターとして指定が受けられるよう現在手続きを進めています。新体制になりましたも、業務はこれまでと変わりませんので、引き続きよろしくお願います。」



されました。

どのセンターも各関係機関との連絡会議等を行っており、少しずつ形になってきているとの意見がでる一方、年々増えてくる就職後の定着支援に対応するため更なるネットワーキング構築が今後の課題であるという意見も出されました。

また県の障害者支援課より鳥取県に続き広島県でも実施される「あいサポートプロジェクト」についての情報提供がありました。

あいサポートプロジェクトとは……
 今後の障害者施策の基軸となるもので、障害者の地域生活の充実や就労の確保のため、福祉・企業・地域等の結びつきを強める取組みです。



事業所紹介

今回は、障がい者社会就労センター「三次」を訪ね支援係長の江波さんからお話を伺うとともに働いておられる皆さんの仕事ぶりを見てきました。



・まず事業所のあらましを紹介ください



口腔ケア商品接着加工作業中の皆さん

当センターでは雇用契約を結ぶ就労継続支援A型と雇用契約を結ばない非雇用型のサービスを選択でき、作業指導と生活指導や健康管理を行いながら社会生活を営むことを目的とした事業所です。

- ・ 仕事の内容はどんなことをされていますか

年間を通しては口腔ケア事業で病院、施設で使用される、歯、歯茎、舌の汚れを除去する製品の接着加工、袋詰め、箱詰めや、期間的に間伐材を利用しての絵馬看板の型きり、穴あけ、面取り、箱詰め作業などです。



絵馬板加工作業中の皆さん

- ・ 現在何名の方が利用されていますか

現在十八名の方が登録、利用されています。就労時間は九時から十六時で途中休憩時間が一時間二十分ありますので働く時間は五時間三十分です。

- ・ 工賃はどのようになっていますか

雇用契約を結ぶA型は時間給七百二十円から非雇用型は時間給百五十円からの開始となっています。

- ・ 事業所行事などはどんなものがありますか

花見や夏祭り、一泊旅行やクリスマス会など

施設外での親睦会が年数回行われます。

- ・ ありがとうございます

しました。これから利用をお考えの方に何か一言

雇用契約を結ぶA型は実習の形で試験があります。非雇用型は自分の能力、生活リズムに合わせて利用が可能です。

ご希望の方は見学なり実習の制度も有りますのでぜひ一度訪ねてみてください。



備北圏域障害者総合就業生活支援センターは、定期的に備北地域の関係機関と毎月連絡会を開催しています。また、本年度は「働き見つけらるまち」と題して

プレセンター活動実績

- 就職者数 35名 (22年4月から累計)
 - 実習実績 31名 (22年4月から累計)
- 平成23年10月末現在

編集後記

暑さ寒さも彼岸までとよく言われますが近年は大分ずれてるようで、今年も遅くまで暑い日が続いたと思ったら急に朝晩が寒くなってきました。

働くには体調管理が大切です。今年は稲、柿、栗など豊作と聞いております、実りの秋を満喫してこれからの冬を乗り越えましょう。風邪には十分気を付けてください。

☎ (0824)

63-1896

